

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【四半期会計期間】	第56期第1四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	コーアツ工業株式会社
【英訳名】	KOATSU KOGYO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白石 純孝
【本店の所在の場所】	鹿児島市伊敷五丁目17番5号
【電話番号】	(099)229-8181
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 西 成人
【最寄りの連絡場所】	鹿児島市伊敷五丁目17番5号
【電話番号】	(099)229-8181
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 西 成人
【縦覧に供する場所】	コーアツ工業株式会社 東京支店 （東京都港区浜松町一丁目12番5号 アルファ・エイチビル4F） コーアツ工業株式会社 大阪支店 （大阪市淀川区西中島五丁目11番10号 第3中島ビル6F） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

（注） 上記のコーアツ工業株式会社大阪支店は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、会社が投資者の便宜を図るため任意に縦覧に供する場所として定めたものであります。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第1四半期連結 累計期間	第56期 第1四半期連結 累計期間	第55期
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成25年 9月30日
売上高(千円)	1,488,377	1,842,148	6,753,337
経常利益又は経常損失( )(千円)	40,130	6,494	13,713
四半期(当期)純利益又は四半期純損失( )(千円)	24,988	2,580	52,100
四半期包括利益又は包括利益(千円)	10,524	9,261	119,547
純資産額(千円)	5,871,572	5,972,854	6,001,573
総資産額(千円)	9,850,338	10,152,433	9,764,909
1株当たり四半期(当期)純利益又は 1株当たり四半期純損失( )(円)	3.29	0.34	6.86
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	59.6	58.8	61.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社(コーアツ工業株式会社)、子会社2社により構成されており、建設事業、コンクリート製品事業、不動産事業を主たる業務としております。

当第1四半期連結累計期間における、各セグメントに係る主な事業内容の変更は、概ね次のとおりであります。

##### <建設事業>

主な事業内容の変更はありません。

##### <コンクリート製品事業>

主な事業内容の変更はありません。

##### <不動産事業>

主な事業内容の変更はありません。

##### <その他>

主な事業内容の変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、安倍政権の経済政策や政府・日本銀行による経済・金融政策を背景に、円安や株式市場の回復などにより、大企業を中心に企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど緩やかな景気回復基調で推移しました。

建設業界におきましては、東日本大震災の復興関連事業や耐震補強事業等の公共工事関連予算の増額が見込まれており公共工事は増加しておりますが、受注物件の獲得競争や労務費・材料費の高騰等が影響しており厳しい受注環境が続いております。

このような中、当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ。)は当期経営基本方針として「発注量の多い地域への重点的な営業活動と技術提案力・企業評点向上による受注獲得と、原価低減による収益力アップを図る。」を掲げ、鋭意努力してまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、18億42百万円と前年同四半期に比し3億53百万円(23.8%増)増加となりました。売上高の増加、工事原価の圧縮により経常利益は6百万円(前年同四半期は経常損失40百万円)、四半期純利益は2百万円(前年同四半期は四半期純損失24百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### a. 建設事業

当第1四半期連結累計期間における建設事業の完成工事高は、14億33百万円(前年同四半期比21.4%増)となりました。主な完成工事は、国土交通省 鹿児島3号都ICランプ橋上部工工事1億1百万円(うち当連結累計期間完成工事高19百万円)、佐賀県 道整交金第0120026-003号伊万里山内線道路整備交付金工事(橋梁補修工)87百万円(うち当連結累計期間完成工事高15百万円)等であります。完成工事高の増加により営業利益は54百万円(前年同四半期比46.8%増)となりました。

#### b. コンクリート製品事業

当第1四半期連結累計期間におけるコンクリート製品事業の売上高は、3億70百万円(前年同四半期比39.2%増)となりました。自社製品売上高の増加に伴う売上原価率の低減により営業利益は21百万円(前年同四半期は営業損失1百万円)となりました。

#### c. 不動産事業

当第1四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は、20百万円(前年同四半期比11.1%減)となりました。売上高の減少により営業利益は5百万円(前年同四半期比30.2%減)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は101億52百万円で、前連結会計年度末に比し3億87百万円増加しました。主な要因は現金預金が1億74百万円、受取手形・完成工事未収入金等が1億26百万円増加したことによるものであります。

負債は41億79百万円で、前連結会計年度末に比し4億16百万円増加しました。主な要因は短期借入金が1億10百万円減少した一方、支払手形・工事未払金等が2億41百万円、長期借入金が2億21百万円増加したことによるものであります。

純資産は59億72百万円で、前連結会計年度末に比し28百万円減少しました。主な要因は利益剰余金の減少額35百万円によるものであります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,400,000
計	30,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,600,000	7,600,000	東京証券取引所 (市場第二部) 福岡証券取引所	単元株式数 1,000株
計	7,600,000	7,600,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	7,600,000	-	1,319,000	-	1,278,500

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 10,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,576,000	7,576	-
単元未満株式	普通株式 14,000	-	-
発行済株式総数	7,600,000	-	-
総株主の議決権	-	7,576	-

(注)1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社保有の自己株式499株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
コーアツ工業株式会社	鹿児島市伊敷5丁目17-5	10,000	-	10,000	0.13
計	-	10,000	-	10,000	0.13

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	418,228	593,063
受取手形・完成工事未収入金等	1,621,974	1,748,010
販売用不動産	119,225	119,225
未成工事支出金	162,874	260,362
商品及び製品	168,183	162,693
仕掛品	4,666	4,233
材料貯蔵品	36,438	31,229
その他	165,588	178,271
貸倒引当金	6,808	7,201
流動資産合計	2,690,370	3,089,888
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,204,408	1,190,735
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	233,265	222,885
土地	4,261,315	4,261,315
建設仮勘定	22,924	30,929
有形固定資産合計	5,721,914	5,705,865
無形固定資産	35,212	33,524
投資その他の資産		
投資有価証券	1,045,633	1,055,975
その他	568,630	563,995
貸倒引当金	296,851	296,817
投資その他の資産合計	1,317,411	1,323,154
固定資産合計	7,074,538	7,062,544
資産合計	9,764,909	10,152,433



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,440,915	1,682,459
短期借入金	722,384	612,384
未払法人税等	22,021	8,074
未成工事受入金	358,248	439,803
完成工事補償引当金	5,000	3,700
工事損失引当金	27,568	3,305
賞与引当金	9,790	-
その他	205,741	234,323
流動負債合計	2,791,670	2,984,049
固定負債		
長期借入金	885,517	1,107,421
その他	86,148	88,107
固定負債合計	971,665	1,195,528
負債合計	3,763,336	4,179,578
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,319,000	1,319,000
資本剰余金	1,278,500	1,278,500
利益剰余金	3,329,975	3,294,608
自己株式	3,320	3,353
株主資本合計	5,924,154	5,888,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,418	84,099
その他の包括利益累計額合計	77,418	84,099
純資産合計	6,001,573	5,972,854
負債純資産合計	9,764,909	10,152,433

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	1,488,377	1,842,148
売上原価	1,344,755	1,657,550
売上総利益	143,621	184,598
販売費及び一般管理費	185,630	180,084
営業利益又は営業損失( )	42,008	4,514
営業外収益		
受取利息	27	22
受取配当金	2,042	2,245
受取賃貸料	2,453	1,942
作業屑売却収入	200	2,089
その他	6,029	3,079
営業外収益合計	10,752	9,380
営業外費用		
支払利息	6,434	5,775
支払保証料	1,044	1,599
その他	1,395	24
営業外費用合計	8,874	7,399
経常利益又は経常損失( )	40,130	6,494
特別利益		
固定資産売却益	18,645	599
特別利益合計	18,645	599
特別損失		
固定資産除却損	218	-
特別損失合計	218	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	21,703	7,094
法人税、住民税及び事業税	4,901	6,176
法人税等調整額	1,616	1,661
法人税等合計	3,285	4,514
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	24,988	2,580
四半期純利益又は四半期純損失( )	24,988	2,580

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	24,988	2,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,463	6,681
その他の包括利益合計	14,463	6,681
四半期包括利益	10,524	9,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,524	9,261
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

当社グループの売上高は、主たる事業である建設事業において、契約により工事の完成引渡し第2四半期連結会計期間に集中しているため、第2四半期連結会計期間に多く計上される季節的変動要因がありますが、工事進行基準適用工事の増加に伴い、工事進行基準に基づく売上高が工事の進捗度に応じて分散して計上される割合が高まっているため、季節的変動は軽減される傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	48,427千円	42,062千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発 生日	配当の原資
平成24年12月21日 定時株主総会	普通株式	37,949	5.0	平成24年 9月30日	平成24年 12月25日	利益剰余 金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発 生日	配当の原資
平成25年12月20日 定時株主総会	普通株式	37,947	5.0	平成25 年 9月 30日	平成25年 12月24日	利益剰余 金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上 高	1,180,566	266,171	23,452	1,470,191	18,186	-	1,488,377
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	-	39,644	327	39,972	998	40,971	-
計	1,180,566	305,816	23,780	1,510,163	19,184	40,971	1,488,377
セグメント利益又は 損失( )	37,140	1,250	7,540	43,430	2,419	87,858	42,008

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおりま  
す。

2. セグメント利益調整額 87,858千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれておりま  
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上 高	1,433,632	370,405	20,842	1,824,881	17,267	-	1,842,148
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	-	71,407	207	71,615	972	72,587	-
計	1,433,632	441,813	21,050	1,896,496	18,240	72,587	1,842,148
セグメント利益	54,539	21,310	5,263	81,113	3,536	80,135	4,514

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおりま  
す。

2. セグメント利益調整額 80,135千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれておりま  
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	3円29銭	0円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	24,988	2,580
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	24,988	2,580
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,589	7,589

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月14日

コアツ工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 西元 浩文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコアツ工業株式会社の平成25年10月1日から平成26年9月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、コアツ工業株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。